

あさひ燦々

理念 地域の人々と勤労者の方々に信頼される医療を提供します

○基本方針 ① 患者さんの権利を尊重して、患者さん中心の医療を実践します。 ② 多職種と幅広く連携し、地域医療の充実に努めます。 ③ 地域の中核病院として急性期医療・救急医療の充実に努めます。 ④ 慈愛の心に満ちた医療人を育成します。 ⑤ 一般医療を基盤とした勤労者医療を積極的に実践します。 ⑥ 働き甲斐のある職場づくりをし、健全な病院運営を行います。

特集1



看護部長就任のあいさつ



旭ろうさい病院
看護部長 鈴木 美佐

令和6年4月1日付で看護部長に就任しました鈴木美佐と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私は地元瀬戸市で育ち、当院で看護師として勤務し、8年前から東京、4年前から愛媛に転勤しました。そして今年度、看護師として育てていただいた当院でふたたび勤務をすることになりました。8年経過すると年齢のせいなのか、ほとんど周りのことを覚えておらず、新しい病院で勤務をする気持ちになっており、緊張感がいっぱい、身が引き締まる思いです。

看護部では地域包括ケアシステムに準じて、その役割を果たすために看護部理念「安心、安全で思いやりのある看護を提供します」を実践出来るよう、さまざまな取組を行って

ります。その一つとして、昨年より「プラスワン座談会」として当院の認定看護師と地域の方々と気軽に話し合う機会を持っております。このような取組は多くの労災病院で行われており、特に認定看護師などの専門知識を持つ看護師の話は地域で患者さんと過ごしている方々にとって、悩みを解決するためのきっかけとなるようです。今後は看護師特定行為研修受講修了者(特定看護師)も同様に参加させていただき、ますます交流が活発になることを期待しております。それに加え、当院での入退院後の療養について、地域での生活そのものについても心配事や悩みはないか、地域の医療従事者(訪問看護ステーションの訪問看護師、ケアマネージャー、介護施設の職員など)の方々と、看護管理者(看護師長、看護師長

☆正常な排尿の目安☆

1日の排尿回数	睡眠中の排尿回数	1回の排尿量	排尿にかかる時間
6～7回	0～1回	200～500ml	30秒以下

水分を摂る量や内服薬の影響によっては、排尿回数が目安よりも多くなることはありますが、正常な排尿の目安よりも回数が多かったり、排尿量が少なかったりすると何らかの排尿障害がある場合が考えられます。前立腺肥大がある場合や内服薬の副作用の影響で、尿が出にくく残尿感があり、頻尿もしくは尿を漏らしてしまう、尿を出すのに時間がかかるといった症状は溢流性尿失禁といえます。咳やくしゃみなどで腹圧

がかかった時に尿がもれてしまう症状がある場合は、腹圧性尿失禁といえます。溢流性尿失禁の場合は、薬剤の使用や前立腺肥大の治療で改善することがあり、腹圧性尿失禁の場合は加齢や妊娠、出産、肥満の女性によくみられる症状で、骨盤底筋訓練が有効な改善方法といわれています。骨盤底筋訓練はすぐに効果が出ないので、無理しない程度で継続することがポイントです。

☆骨盤底筋訓練☆



排尿ケアチームは排尿障害が考えられる入院患者さんに対して原因を追求し、内服薬や道具を使うことで排泄をコントロールし、患者さんに合った排尿機能の改善方法を考えています。今後も気持ちのよい排泄が自立してできるように支援し、生活の質の維持、向上に向けて積極的に取り組んでいきます。





腎代替療法選択外来について



旭ろうさい病院
腎臓内科主任部長 市川 匡

慢性腎臓病と診断され、その進行を抑えたい一心で長く食事療法に取り組んでこられた方や、突然腎不全と診断を受けた方など、そこに至るまでの道のりは人それぞれに違いますが、「透析が必要です」と医師から告げられたときのショックはどなたにとっても非常に大きいものです。喪失感や透析への拒否感でいっぱいになり、先のことを考えるのが難しいと思われるかもしれません。

腎代替療法選択外来では、それぞれ異なる生活背景や価値観、生きがいをお持ちの患者さんの視点に立って、腎臓の働きを補うために、また、症状を緩和するために、どのような方法があるか（血液透析、腹膜透析、腎臓移植、保存的腎臓療法）を説明し、どの方法が最も適しているかを患者さん・ご家族と医師・看護師等で一緒に考えます。疑問点は遠慮なく尋ねていただき、十分な情報を得た上で、これからの人生をイ

キキと過ごしていただくためのプランを考えるきっかけとなります。

医学的な情報だけでなく、患者さんにとって何が大切なのかという患者さんの価値観や選好を十分に考慮して検査や治療を選択していただきます。治療方針の決定に迷う際には、医療者が勝手に決めてしまうのでもなく、患者さんに判断を任せてしまうのでもなく、ともに話し合っていくことで、患者さんは治療法についてよく理解し、医療者は患者さんの価値観を理解し、よりよい決定につながると考えられています。当院では金曜日の午後1時間から1時間半かけて話し合いの場を持たせていただきます。初回でいきなり決定する必要はなく、2回目の予約も可能です。また決定した内容は後から変更可能です。患者さんの今後に重要な話し合いです。できるだけ参加可能なご家族も来院していただくと、より良い話し合いになると考えられます。腎代替療法選択外来に直接

予約も可能ですが、通常外来にご紹介いただけますと、事前に情報確認がしやすいので出来れば月水外来にご紹介いただくと助かります。選択肢として提案する方法を簡単にですが提示いたします。

・血液透析

血液透析は腎臓の機能が十分でなくなった場合に、その機能を肩代わりする腎代替療法の一つです。一般的には透析施設へ通院のうえ、1回の治療は3～5時間、週3回行います。全国で約30万人の患者さんが、約4000の施設で治療を受けています。食事療法が必要で、降圧薬、リン吸着薬、貧血に対する薬剤などが多くの場合必要とされます。しかし、わが国では45年間にわたり透析を受けられている方もおられ、長期に腎機能の肩代わりが可能で、近年、老廃物の除去効果が高いオンライン血液透析濾過や、自宅に透析装置を設置し、自分で治療を行う在宅血液透析に注目が集まっています。

・腹膜透析

腹膜透析（PD）は、お腹にカテーテルを入れる比較的簡単な手術が必要となります。通常、月に1-2回の通院となります。1日に3、4回バックを用いて透析液を交換する方法（CAPD）と寝ている間に器械を使って自動的に行う方法（APD）があり

ます。CAPDでは、1回のバック交換に約20-30分必要です。腹膜透析の最大の利点は、血圧変動が少なく身体への負担が少ない透析であることです。また、自由度の高い生活が可能で、社会復帰が容易となります。血液透析に比べて、残っている腎臓の機能や尿量が長く保たれますので、尿量が維持されている間は水分摂取制限が少ないという利点もあります。こういった観点から、腎代替療法が必要になった場合には残腎機能を長く保つ腹膜透析から開始することが良いという『PDファースト』が勧められています。

・CKM (conservative kidney management)

末期腎不全に達したCKD患者が腎代替療法（腎移植、腹膜透析、血液透析）を選択しない場合や維持透析患者が透析療法の継続を中止する場合に、尿毒症症状（嘔気や呼吸困難など）や苦痛の軽減のために実施される保存的な治療で、腎臓内科的管理から緩和医療までを包括してCKMと呼びます。症状を軽減するためだけに実施される一時的な血液透析を含む場合もあります。CKMのあり方は国際的にも標準化はなされていませんが、近年、日本においてもガイドの作成が試みられています。今後は第4の腎代替療法として認知され提示される選択肢の一つになってきています。

教えてドクターQ&A



【質問】

先生に言いたいことは沢山あるのに、実際に診察を受ける時になるとうまく自分の症状を伝えられません。どうしたらよいでしょうか。

【回答】

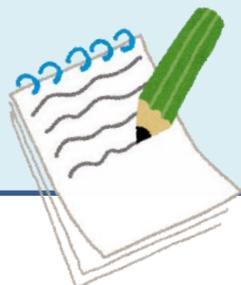
アドバイス：医師に伝えたいことを事前にメモしておきましょう。お気持ちとてもわかります。自分の状態を医師に伝えることは、正しい診断や適切な治療を受ける上で非常に重要ですが、いざ診察室に入って医師を前にすると自分の症状や病状を伝えることは患者さんにとってはとても緊張することですよね。また、症状が出現した正確な時間や経過などは診察までの間に忘れてしまっていることもあるでしょう。

そこで、あらかじめ医師に聞きたいことや、伝えたい要望、病状の経過などについてメモにまとめておくことが役立つかもしれません。紙に書き出して情報を整理しておくことで、診察中に見落としがちな部分を漏れなく医師に伝えることができますし、自分の記録としても役立ちます。

また、その際に自分が感じたことなども一緒にメモしておくことで、医師は患者さんがどのようなことを不安に感じているのかわかりますし、患者さんにとっても紙に書き出すことによって、あとから振り返ったときに自分の感情を俯瞰的にみるきっかけにもなります。

同様に、診察の際に医師が言ったことのメモをとることもおすすめです。医師からの説明や治療の内容などを自分なりに簡単にメモしておき、わからないことや気になる点があればその場で遠慮なく質問しましょう。診察で自分が言いたいことを上手く伝えられない患者さんは、自分の状況や伝えたいことをあらかじめメモにまとめておくことを心掛けてみてください。それがより良い医療を受ける第一歩となるかもしれません。

総合内科主任部長 小栗 太一



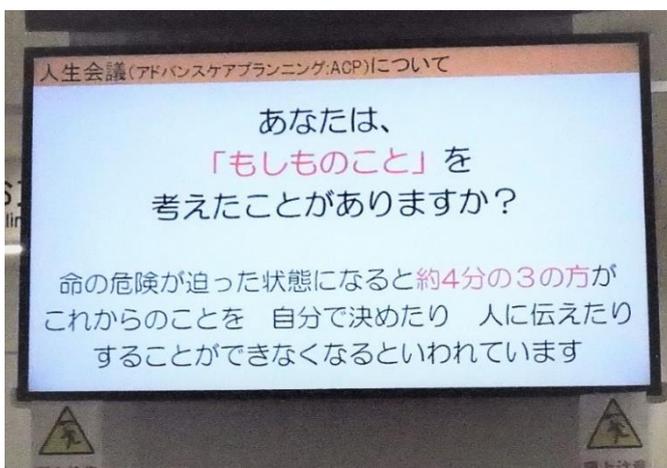
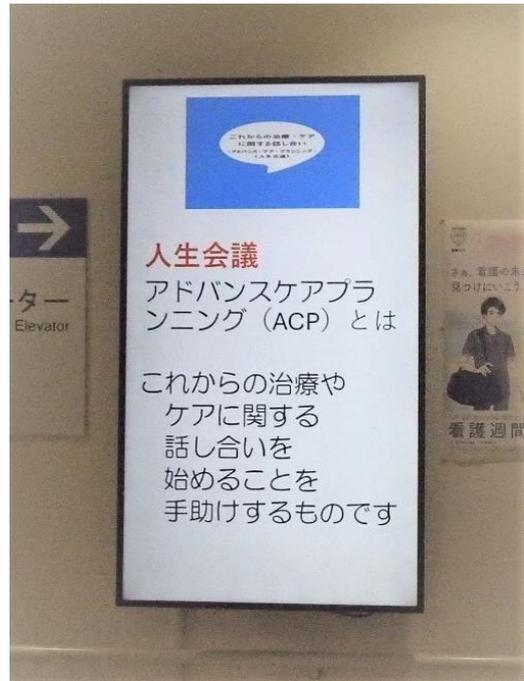
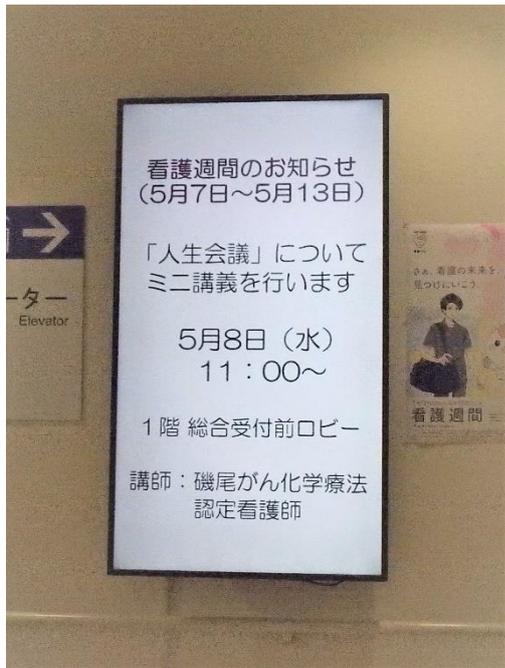
～第 36 回尾張旭市健康まつりに参加しました～

4月29日にスカイワードあさひにて開催されました第36回尾張旭市健康まつりに参加しました。フットケア外来看護師大西さんを中心とし、セルフフットケア相談を行いました。当日は整理券による予約制とさせて頂きましたが、たくさんの方々に興味を持って頂き、開始30分程で整理券の配布が終了となるなど大盛況でした。参加者の方からは、「今年の体験が良かったから今年も来ました」など毎年好評をいただいております。



～看護週間について～

令和6年5月7日から13日に看護週間の取組として、人生会議「これからの治療・ケアに関する話し合い～一緒に考えてみませんか～」の動画を院内で放映しました。また、5月8日に旭労災病院一階受付前にてがん化学療法看護認定看護師が「人生会議について」のミニ講義を行いました。講義を聴いている方からは「自分の今後について帰って考えてみたい」というお声もいただき、患者さん・ご家族に人生最終段階での医療・ケアについて意識していただくことができました。



無料Wi-Fiスポットを設置いたしました

▶ 病棟デイルーム、待合等に**無料Wi-Fiスポット**を設置いたしました。是非ご利用ください。

○ 設置場所

- ・2-4F病棟デイルーム
- ・総合受付待合
- ・外来待合 ・地下1階ラウンジ



病棟デイルーム



総合受付待合

○ ご利用可能時間

午前7時～午後9時



外来待合



地下1階ラウンジ

○ ご利用方法

お手持ちのパソコン、タブレット
スマホでご利用いただけます



Wi-Fi使えます

- ・下記の【SSID】で御利用頂けます。（無料）
- ・接続マニュアルに沿って御利用下さい。

SSID **AsahirousaiH_Wi-Fi**

PASS **1 2 3 4 5 6 7 8**

令和6年度新規採用職員紹介



・名前
星合 朗

・診療科
総合内科

・自己紹介

4月から総合内科に赴任した星合 朗です。2009年に東京医科大学を卒業後、八王子市で初期研修し、そのまま救急医となって働いてきました。途中静岡の病院で外科研修を行い、サブスペシャリティーとさせていただいております。この度故郷である尾張旭市に戻るとあたり、旭労災病院で勤務させていただくことになりました。至らぬ点が多いと思いますが、地元地域のために精一杯務めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



・名前
鈴木 健太

・診療科
外科

・自己紹介

本年4月より外科に赴任いたしました鈴木 健太と申します。2014年に愛知医科大学を卒業し同大学病院での2年間の臨床研修を経て、愛知医科大学消化器外科に入局致しました。2020年から約2年間は東京医科大学で膵臓に対する内視鏡手術について研鑽を積み愛知医大に帰局したのち、本年4月より旭労災病院に勤務させていただくこととなりました。市中病院での勤務は初めてであり慣れない部分も多いとは思いますが地域医療に貢献できるよう精進していきたいと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



・名前
小川 高生

・診療科
耳鼻咽喉科

・自己紹介

令和6年4月より旭ろうさい病院耳鼻咽喉科に赴任致しました、小川高生と申します。常勤医1名の体制ですが、外来は、平日は毎日私が担当させて頂き、加えて月・水・木・金曜日には非常勤医師もお入り二診体制で行って参ります。耳鼻咽喉科領域の一般的な感染症、難聴、顔面神経麻痺などに対して外来・入院治療を行います。また、睡眠時無呼吸症候群についてはPSG検査のみ当院で行う、PSG検査とCPAP導入までは当院で行いその後はお戻りする、CPAP導入後の通院も当院で行う、など、患者さんのご都合に合わせて柔軟に対応致します。地域の皆様の健康に貢献できるよう努力して参りますので、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。



・名前
清水 徹

・診療科
糖尿病・内分泌内科

・自己紹介

本年4月より糖尿病・内分泌内科に着任しました清水徹と申します。栃木県の獨協医科大学を卒業後、地元である愛知県に戻り、この旭労災病院にて初期研修を2年間させて頂きました。その後、愛知医科大学糖尿病内科に入局致しました。この度、再度旭労災病院にて1年間勤務をさせて頂くこととなりました。まだまだ未熟者で、ご迷惑をおかけするかと思います。当地域の医療の一助になればと思っております。何卒よろしくお願い致します。



・名前
瀬古 理恵

・診療科
糖尿病・内分泌内科

・自己紹介

本年4月より糖尿病・内分泌内科に着任いたしました瀬古理恵と申します。令和2年に名古屋市立大学を卒業し、豊川市民病院で計4年間初期・後期研修ののち、旭労災病院で勤務させていただくこととなりました。名古屋市出身で、今回久しぶりに名古屋での生活が始まり嬉しく思います。糖尿病内分泌内科医としては2年目であり、まだまだ未熟な点も多くご迷惑をおかけすることもあると思いますが、当地域の患者さん、先生方の力になれるよう精進して参ります。よろしくお願いいたします。



・名前
大島 みど梨

・診療科
消化器内科

・自己紹介

初めまして、4月より旭労災病院消化器内科に勤務させていただくことになりました大島みど梨と申します。私は藤田医科大学病院で初期研修後、愛知医科大学の消化管内科に入局し勤務しておりました。現在までは大学で消化管内科に専属していたため、こちらでは今までより一般内科症例を経験し他科の先生方との連携を大事にしていきたいと思っております。また、今年度から外来診療に携わるため不安も多くありますが消化器の知識だけでなく患者さんに寄り添った対応を心がけ、内視鏡の技術もさらに身につけたいと思っております。消化器内科の先生方はもちろん、他科の先生方にもいろいろとご教授いただけると幸いです。よろしくお願いいたします。



・名前
山口 眞幸

・職種
整形外科専攻医

・自己紹介

2024年4月より入職しました、整形外科の山口眞幸と申します。2021年に愛知医科大学を卒業し、そのまま大学病院で研修、入局となり、1年大学病院での研修を経て今回旭ろうさい病院に入職となりました。まだまだ色々未熟な点が多々あり、ご迷惑をかけること多々あるかと存じますが、精進して参りますので今度とも変わらぬご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。



・名前
中筋 ウィリアムトーマス

・職種
研修医

・趣味又は長所
サッカー観戦

・自己紹介

愛知医科大学を卒業しました。出身は大阪府です。母が、日本人で、父がアメリカ人です。サッカーが大好きで、サッカー歴は10年以上になります。現在はサッカー観戦をすることが自分の趣味です。料理はメキシコ料理を作ることが多いです。将来は内科系に進もうと考えています。わからないことが多く、未熟なところもありますが、体力に自信はあるので、全力で頭と体を使って頑張ります。よろしくお願いいたします。



・名前
山田 沙樹

・職種
研修医

・趣味又は長所
ドライブ

・自己紹介

努力することを怠らず、医師の道を誠実に歩んでいきたいと思えます。一人一人に寄り添える医師となれるように精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。



・名前
渡部 周

・職種
研修医

・趣味又は長所
野球

・自己紹介

新潟から参りました渡部と申します。日進市出身で小4から高校卒業までを東京で、大学を新潟で過ごし、16年ぶりに愛知に戻って参りました。まだ分からない事も多いですが、よろしくお願いします。



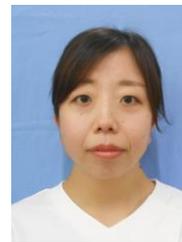
・名前
山本 悟暁

・職種
研修医

・趣味又は長所
剣道

・自己紹介

名古屋市立大学から来ました山本悟暁です。出身は瀬戸市で、剣道部に所属していました。いち早く患者さんに寄り添った医療を行えるよう精進してまいります。よろしくお願いします。



・名前
勝野 なつね

・職種
看護師

・趣味又は長所
映画鑑賞

・自己紹介

4月から勤務させていただくことになりました。豊田市出身です。明るく笑顔で皆様のお役に立てるよう頑張ります。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



・名前
木内 みなみ

・職種
看護師

・趣味又は長所
韓国ドラマをみること

・自己紹介

患者さんの思いを汲み取り、誠実に対応できる看護師になりたいと思っています。はじめは慣れないことばかりですが、精一杯頑張りたいと思いますので、ご指導よろしくお願いします。



・名前
熊倉 名奈子

・職種
看護師

・趣味又は長所
書道

・自己紹介

マイペースな部分もありますが、色々な事を学びながら成長し、信頼される看護師になれるよう頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。



・名前
佐藤 麗

・職種
看護師

・趣味又は長所
映画鑑賞

・自己紹介

笑顔を忘れず、患者さんや病院スタッフの方から信頼される看護師を目指し、何事にも一生懸命に取り組み、知識や技術を身につけていきたいです。よろしくお願い致します。



・名前
竹澤 星

・職種
看護師

・趣味又は長所
ドライブ

・自己紹介

社会人一年目で至らない点もあるかと思いますが、スタッフの皆様から信頼される看護師になれるよう頑張ります。よろしくお願い致します。



・名前
椿井 大夢

・職種
看護師

・趣味又は長所
映画鑑賞

・自己紹介

無事国家試験に合格して、4月から看護師として働くことになりました。社会経験が少なく、迷惑をかけてしまうこともあると思いますが、一人前になれる様に日々成長していきます。よろしくお願い致します。



・名前
新実 勇人

・職種
看護師

・趣味又は長所
映画鑑賞

・自己紹介

公立瀬戸旭看護専門学校出身の新実勇人です。新しい環境で不安なことばかりですが、看護師として患者さんやその家族に信頼される医療を提供できるよう頑張ります。趣味の映画鑑賞は洋画をよく見ます。他には音楽を聴いたり、最近は筋トレをしたりしています。ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、よろしくお願い致します。



・名前
西田 敦貴

・職種
看護師

・趣味又は長所
野球観戦

・自己紹介

患者その家族には優しく笑顔で、自分には厳しく、基礎技術を確実に一つずつ学びながら、理想の看護師像に近づけるように頑張ります。



・名前
畑 怜花

・職種
看護師

・趣味又は長所
明るいこと

・自己紹介

私はよく周りから「笑顔が素敵だね」「明るいね」と言われることが多いです。自分の長所を活かしながら患者さんやスタッフの皆さんと共に一職員として頑張りたいです。よろしくお願い致します。



・名前
松本 光

・職種
看護師

・趣味又は長所
読書

・自己紹介

大変だった看護学校を乗り越え、念願の看護師になることができ、とても嬉しく思います。まだまだ至らぬところばかりですが、精一杯学び、看護師として戦力になれるよう頑張ります。よろしくお願いします。



・名前
宮野 椋平

・職種
看護師

・趣味又は長所
料理、体を動かすこと

・自己紹介

中部労災看護専門学校を卒業し、旭労災病院にて勤務する事となりました。右も左も分からない状況ですが、一生懸命頑張りますのでご指導の程よろしくお願ひします。



・名前
渡邊 佳夏

・職種
看護師

・趣味又は長所
ラーメン巡り

・自己紹介

はじめまして。新社会人としてまず環境に慣れること、そして、看護技術・知識を身につけて多方面に貢献できる看護師になれるよう頑張ります。至らぬ点も多くあるかと思いますが、ご指導よろしくお願ひします。



・名前
柳橋 和泉

・職種
看護師

・趣味又は長所
舞台鑑賞・旅行

・自己紹介

今までは新生児・小児科領域に携わることが多く、成人領域での看護は初めてになります。不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、よろしくお願ひします。



・名前
松本 伊麻里

・職種
薬剤師

・趣味又は長所
邦ロックのライブ

・自己紹介

元々薬局で働いていたため、病院勤務は不安な点もありますが、それ以上に多くのことを学んでいきたいと思っています。他職種の方々と一緒に働けるのがすごく楽しみです。よろしくお願いします。



・名前
丸山 友里子

・職種
薬剤師

・趣味又は長所
旅行

・自己紹介

はじめまして。薬剤師の丸山友里子と申します。患者さんと職員の皆様に気軽にお薬の相談をしていただけるように、一日でも早く新しい環境に慣れるよう頑張りますので、よろしくお願いします。



・名前
近藤 雅大

・職種
臨床検査技師

・趣味又は長所
買い物

・自己紹介

この度、臨床検査技師として働かせていただくことになりました近藤雅大と申します。業務の関係上、病棟に行くことが少なく、委員会などに積極的に参加していきたいと思っていますので、その際にはよろしくお願ひします。



・名前
篠田 萌葉

・職種
臨床検査技師

・趣味又は長所
道の駅、城巡り

・自己紹介

臨床検査技師の篠田萌葉です。生まれも育ちも尾張旭であるためこの度地元である旭ろうさい病院で働けることを嬉しく思います。地域の方々に迅速かつ正確な検査結果をお返しできるよう頑張ります。よろしくお願ひします。



・名前
廣中 瑞希

・職種
臨床検査技師

・趣味又は長所
料理

・自己紹介

臨床検査技師の廣中瑞希です。私は大学卒業後、神経生理検査を中心に生理検査を担当してきました。今回ご縁があり、旭ろうさい病院で勤務できることを大変嬉しく思います。精一杯頑張りますのでよろしくお願ひいたします。



・名前
大塚 隼

・職種
臨床工学技士

・趣味又は長所
家族とお出かけ

・自己紹介

はじめまして、臨床工学技士の大塚と申します。前職場の土岐市立総合病院では、消化器内視鏡技師として内視鏡業務を主に、術中ナビゲーション、RFA、透析業務に携わってまいりました。即戦力として活躍できるよう精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



・名前
有木 伽織

・職種
事務職

・趣味又は長所
アニメ・音楽鑑賞

・自己紹介

このたび医事課に配属になりました有木伽織と申します。趣味はアニメを見ること、音楽を聴くことで、特にマッシュルというアニメと indigo la End というバンドが好きです。出身は香川県で、大学は京都府、社会人1年目は神奈川県で過ごし、愛知県に住むのは初めてなので、とてもワクワクしています。また、病院で働くのも初めてなので、至らぬ点が多々あるかと思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願ひいたします。



・名前
福岡 純

・職種
事務職

・趣味又は長所
旅行

・自己紹介

前職はメーカーで設計・開発の業務をしておりました。経理の仕事は未経験なので1からがんばっていききたいと思っています。よろしくお願ひします。

～新規職員入職について～

令和6年4月1日より本年度の新規採用職員が入職しました。

本年度は医師11名、看護師13名、薬剤師2名、検査技師3名、臨床工学技士1名、事務職員2名の計32名のこれから病院を支える貴重な正規職員が採用となりました。どうぞよろしくお願ひします。



編集後記

依存症について

ドジャースの大谷選手の専属通訳であった水原一平氏がギャンブル依存症であったという大きなニュースがありました。依存症は深刻な社会問題です。ギャンブル、アルコール、薬物、ゲームなど、様々な依存症が人生を狂わせ家族や社会に大きな悪影響を与えています。

依存症は病気であり、適切な治療と支援により回復することができます。専門医療機関やカウンセリング機関などの相談窓口が設けられています。また、自助グループや家族会などのサポート体制も充実しています。依存症は誰にでも起こり得る問題です。自分自身や周りの人が依存症に苦しんでいるのではないかと少しでも不安を感じたら、すぐに相談窓口に連絡してください。

<おすすめのサイト>

依存症対策全国センター：<https://www.ncasa-japan.jp/>

厚生労働省依存症啓発事業特別サイト：<https://izonsho.mhlw.go.jp/>

広報委員長 小川 浩平